

10月26日 第69回千代田区労協定期大会開かれる

実質賃金引き上げ、最賃 1500 円以上に、社会保障の拡充、軍
拡・戦争反対、消費税減税、労働法制大改悪反対で、労働者の暮
し、雇用、いのち、平和を守ろう！

2025年も茂呂議長体制で

2024年10月26日、水道橋の全水道会館において第69回千代田区労協定期大会が開かれました。小番組議長の司会で開会し、大会議長団と大会運営委員が選出されました。実教出版労組の八重樫代議員と特許庁支部の小池代議員が議長に選任され、議事が進行されました。

議長挨拶

冒頭に茂呂議長があいさつし、『24春闘では、大手と中小の賃上げは開きが出た。そして、物価を下回る賃上げであった。引き続き、大幅賃上げをめざして頑張りたい。今後力を入れていきたいのが最低賃金の引き上げである。東京は1163円になったが、まだまだ、生活に見あっていない。物価高で2000円位は必要だが、今すぐ1500円以上にするようたかかっていく。最低賃金は、賃金の底上げにつながるものだ。

さて、明日総選挙の投票だが、石破さんは、自民党総裁選の時と首相になってからでは、言っていることが全く違う。結果として、これまでの自民党政治と同じになっている。裏金議員にも2000万円配っていた。反省が全くないことからみても国民の暮らしは良くならないと思う。良くするように投票していただきたい。

また、軍事の問題も私たちの生活に影響を与えている。

軍事費を倍増する動きが加速している。その軍事費をね出するために増税となっている。これでは、国民暮らしへの影響は大きい。

運動方針案を作ったあとに起きたことで、二つのことある。一つは、ノーベル平和賞を日本被団協が受賞したことである。世界での核兵器をなくす運動を励ますものである。このことを力にし、引き続き、私たちも毎月6・9行動などで核兵器をなくす運動を進めていきたい。もう一つは、袴田事件で、再審無罪が確定したことである。死刑判決を受けて50年以上も拘束され、えん



冒頭挨拶する茂呂千代田区労協議長



大会議長団

実教労組の八重樫さん、特許庁支部の小池さん

罪で、証拠が捏造されたというひどいものであった。人権を取り戻せたが、あまりにも遅いもので一人の人間の人生を奪った。労働組合のたたかいでも、争議などで人権を取り戻すたたかいが行われている。引き続き、人権を取り戻すたたかいが求められている。今日の大会では、活発な議論を行っていただきたい。』と述べました。

来賓挨拶

来賓として**東京地評の中村修一事務局次長**は、『物価高騰の中、貧困が広がっている。最賃の引き上げは幅広い労働者に影響を与える。さらに引き上げていく必要がある。また、生活を支えていく上で、消費税の減税が求められている。労働組合として運動を強めていく必要がある。』と挨拶。

千代田区労連の香取義和議長は、『戦争を知らない世代だが、毎日のように悲惨な戦争の報道がなされている。日本では、今までにない軍拡が進められている。これでは、国民生活に関わる予算が削られることである。軍拡は、非常に危険な道だ。労働者の生活を守るためにも反対していくことが必要だ。労働者の要求はたくさんあり切実だ。その要求実現に奮闘するのが労働組合だ。頑張っていきたい。千代田も多くの争議を抱えている。その中で、AGC 本社による女性の解雇事件がある、今、裁判でたたかっている、支援をお願いしたい。』と挨拶。

旬報法律事務所の中西翔太郎弁護士は、『私は、差別の問題でたたかってきた。日本郵政の非正規雇用の差別事件では、最高裁で勝訴し、原告からほめてもらったことがうれしくその後の力になっている。今取り組んでいるのが、労災の遺族補償年金の男女差別問題だ。遺族が妻・女性であった場合は、遺族年金は亡くなるまでもらえるが、遺族が男性であった場合は、一時金しかもらえない。国を相手にたたかっている。大阪地検の検察トップによる性暴行事件、法曹界を揺るがすもので怒りを覚える。声を上げられない方々もいる。声が上げられるよう支援していきたい。引き続き、差別問題などの取り組みを一緒に頑張りたい。』と挨拶。

以上、3名の方々が来賓の挨拶をしました。

大会運営委員会から留場代議員が、大会次第、資格審査、大会成立要件、役員選挙などについて、報告をしました。

報告と提案

24年度活動報告及び25年度運動方針(案)について、**里見副議長**が提案しました。

『石破内閣の支持率は28%、極めて低い。明日の総選挙に影響するのではないか。』

たたかいの課題、**大幅賃金引上げの項**では、24春闘について、国民春闘共闘は、加重平均10,163円(3.49%)連合は、加重平均15,281円(5.10%)、経団連は、大手(500人以上、東証1部上場中心)の135社の加重平均で19,210円、5.58%であった。



左から来賓の香取さん、中村さん、中西さん

国家公務員は、平均で 11,183 円 (2.76%、定昇込み 4.4%) 引上げ、特別区は、公民較差 11,029 円 (2.89%) となっている。いずれも、1 万円を超える賃上げがあった。国税庁の民間給与実態統計調査では、2022 年の民間企業労働者の年間給与は平均 458 万円で、男性は平均 563 万円、女性は 314 万円だった。格差がある。正規と非正規の平均給与は 523 万円と 201 万円で 2.60 倍の差がある。中央値 (年間給与の順位が真ん中) は 396 万円となり、400 万円を下回る低額となっている。2023 年でもほとんど変わらない。2024 年は、賃上げされているので、少し改善はあると思う。OECD 中の平均年収では、日本は 1 万 3000 ドルも下回っている。まだまだ、日本の賃金は低い状況であり、大幅賃上げめざしてたたかい続けることが必要である。

最低賃金について、東京都は 50 円引き上げて 1163 円、地方では目安に上積みし、全国平均 1055 円になった。厚労省の調査では 25 歳以下の若年層と 60 歳以上の高齢者層では最賃近くで働いている割合が 2 割を超えている。最低賃金を上げることは、賃金の底上げにつながる。全労連の生計費調査では、全国どこでも 1600 円以上必要となっている。アメリカの 14 州では 15 ドル以上、2000 円以上となっている。千代田区労協は 1500 円以上を掲げ、東京春闘共闘では、最賃 1500 円以上、めざせ 1700 円、世界の常識 2000 円を掲げている。来年に向けて更なる引上げを求めていくことが必要である。

不公平税制の是正、消費税をなくすたたかいでは、国の税収は、物価高騰で消費税が伸び 23 兆 823 億円と過去最高を更新。法人税、所得税に比べ一番多くなっている。消費税導入以後、法人税は半減し、大企業の税負担は極端に少なく、優遇されている。消費税のインボイスが導入されて、フリーランス、小規模事業者などが増税になっている。消費税導入後も社会保障は改悪の連続である。廃止求めて運動していく。

社会保障拡充のたたかいでは、子どもの医療費・給食費の無料化、高等教育までの無償化が求められている。医療・介護制度等の見直しで負担増も進んでいる。物価高のなかで年金も上がらず、高齢者の生活は苦しくなっている。

労基法改悪反対のたたかいのたたかいでは、労基法を守らなくてもよい仕組みにしていくのが、政府・財界の狙いである。長時間残業をなくし、時短も必要である。労働者保護の点からも労基法を逸脱していくことに反対していく。ジョブ型人事は、賃金引下げに使われている。フリーランスのための法律ができ、保護する取り組みが求められる。

ジェンダー平等をめざし、男女格差、ハラスメントをなくすたたかいでは、AGC グリーンテック争議で勝ち取った成果を広げ、間接差別を許さないことが必要である。男性の賃金水準を 100 とした場合に女性は 75.7%にとどまっている。女性は男性の 56%にとどまっているとの統計もある。企業によっては、もっと格差が開いているところもある。格差解消のたたかいを進めていく。

いのちと健康を守るたたかいでは、新型コロナは、5 類扱いになったが、増減を繰り返している。政府の責任対応が求められる。紙の保険証発行が 24 年 12 月で中止されるが、マイナ保険証がとって代わるものではない。廃止に向けて運動していく。大気汚染被害者救済も急がれる。原因企業の責任を問い、公害の根絶と国民のいのちと健康を守る課題として取り組んでいく。

解雇、リストラ「合理化」に反対し、争議の勝利を勝ち取るたたかいでは、まず、ユニオンちよだのたたかいだが、争議などをたたかいながら組合員 165 人になり、180 人をめざしている。

明治乳業争議・40 年の長いたたかい、じん肺・アスベストのたたかい、民事法務労働組合のたたかい、AGC グループ争議対策会議の取り組み、JAL 争議団の解雇撤回のたたかいについて、支援し、取り組んでいく。当該、争議団などから報告をいただきたい。特に、ジュネーブにある国連欧州本部の女性差別撤廃委員会に AGC グリーンテック争議をたたかった方と区労協常任幹事の増淵さんが、女性差別撤廃条約の履行状況を確認する日本報告審議に参加された。ぜひ、報告いただきたい。

戦争反対、改憲阻止、平和と民主主義を守るたたかいでは、核兵器禁止条約ができて、核兵器をなくす運動が世界に広がっている。その中で、日本被団協がノーベル平和賞を受けたことは、運動の前進にとってプラスになる。千代田区春闘共闘も毎月の6・9行動を続けて頑張りたい。ウクライナとロシアの戦争、イスラエルとパレスチナで戦争が続いているが、拡大することと戦争反対で声を上げ続けていきたい。千代田総行動では、平和を守る、戦争反対を掲げて取り組んでいく。また、毎月の消費税反対の宣伝と合わせて改憲反対などの宣伝も行っていく。

9月24日には、第31回千代田平和集会「外交で平和を作るにはどうすべきか ～戦争を回避するために～」と題して、新外交イニシアティブ代表・弁護士の猿田佐世さんに講演してもらった。全体で80名を超える参加があった。軍拡ではなく外交で戦争をさせない取り組みを進めることを学んだ。1区市民連合の取り組みでは、今回の選挙は、統一できなかったが、引き続き、再構築に向けて取り組んでいくことにしている。

都政、区政の課題に対するたたかいでは、今の都政は、大企業優先、大型開発優先、「国際競争力の強化」「稼ぐ東京」を掲げる都政になっている。また、都立病院の公社化、神宮外苑、日比谷公園の樹木伐採、無駄なプロジェクトマップへの税金の支出など、都民の声に逆らった行政になっている。こうしたことは、都民のいのちと暮らしを犠牲にしているもので、反対していく。

区政では、職場は人員不足となっている。住民サービス低下を招いている、外から声を上げていきたい。以降、課題の目標について提起している。それに従って、取り組んでいきたい。以上で、提案を終わる。活発な議論をお願いしたい』と提案がありました。

続いて**小林事務局長**から24年度会計決算報告、青木会計監査から監査報告がありました。25年度会計予算(案)について提案の後、休憩をはさんで質疑・討論に入りました。

討論では、代議員だけでなく争議団や運動に関わっている方からの発言も認められました。

質疑・討論

特許庁支部の**田代さん**は、『JAL 争議に関して今、財政問題で裁判になっている。争議支援は控えた方がよいのではないかと。区労協の見解を求めたい。』と質問しました。

ユニオンちよだの鈴木さんは、『AGC グリーンテック争議の裁判では、社宅制度について、間接産別として勝訴した。区労協などをはじめとして多くの支援があったからだ。現在、たたかっている争議、団体交渉している事案が多い。ホームページ、ツイッター、X、地評などを通じて寄せられる相談も多い。解雇問題が多く、労働者が使い捨てのようにさせられていると感じる。AGC 本社の解雇事件は係争中である。11月13日の千代田総行動で本社前の抗議要請行動を実施したい。引き続き、支援いただきたい』と発言しました。

明乳争議団の額賀さんは、『40年のたたかいになっていて、都労委でたたかっている。ようやく今年の4月以降。都労委で39事件併合で審査が進んだ。申立人側は5人の証人、会社側は、1人ということで、7月24日から10月29日まで期日が入った。申立人は、各工場における差別の実態を証言した。会社側は、反対尋問をほとんどしなかった。会社側の証人については、10月29日に行われる。我々は、反対尋問を行い、会社を追い詰めて、今度こそ決着していきたい。長いたたかいの最後になる、引き続き、支援をお願いしたい』と発言しました。

JAL 争議団の齋藤さんは、『2010年12月31日に解雇され、争議は14年になる。都労委でJALと国交省に解決を求め、今、あっせんが行われている。整理解雇したのち、会社側が人員を採用する場合、解雇した者を優先して採用するのが、国際的なルールである。しかし、JALは、多くの人員を採用したが、一人も

職場に戻していない。優先再雇用しろ、解決金をとあっせんで求めている。解雇されたパイロットが JAL の子会社で業務についている実態があるので、優先雇用できるのではないかと迫っている。10月25日に5回目のあっせんがあった。会社側は、ZIP エアーに応募してほしいと回答した。ところが、以前にも ZIP エアーに応募したが、全員が落とされている。会社は戻す気がないと言える。解決金は払わないという姿勢だ。2 労組がすでに業務委託で決着しているので、それで解決してほしいと言う。これでは、我々にとってはゼロ回答である。次のあっせんは、12月25日になった。引き続き、クリスマスプレゼントとなるよう頑張りたい。

JAL 争議に関する質問があったので、関連してコメントしたい。2年前、JAL 争議団の4分の3の人たちが会社側と解決した。そこで、JAL 争議団は終結したが、納得できない35名が争議を続けている。ところが、争議を止めた1名が、それまでにあった争議団のお金(カンパ金など)を頭割りで返してほしいと訴えたものである。現在は、裁判になじまないのではないかと進行協議が行われている』と発言しました。

区職労の留場さんは、『特別区の賃金について説明したい。今年の勧告では、時給1506円が1689円となる。高卒初任給は、18万2000円となり、採用を増やそうとしていると思う。給与2.89%、一時金も0.2月の引き上げにより平均年間給与は26万7千円の増となるが、そこに該当する人たちはどのくらいいるのか。初任給に近い層の人たちだけが26万7千円の年収増となるもので、他の人たちはそんなに増えない。主任の中堅以降は1,000円の引き上げにとどまっている。国と比較すると給与は98.6%と低くなっている。従って、物価高騰には見合わない。また、基本給与、地域手当、扶養手当の3つだけが、一時金の算定基礎となっていて、民間と比べて差がある。質問だが、たたかひの目標の中で、賃金要求として、日額8,000円以上、月額17万円以上となっているが理解できない。説明を求めると』と発言しました。

水久保さん(区労協OB、ユニオンちよだ)は、『東京1区市民連合と戦争させない千代田の会の活動について、発言したい。1区市民連合は、今回の総選挙では、野党統一ができなかった。理由は、これまで一致できていた安保法制廃止で一致できなかったこと、閣外協力について、立憲と共産との間では、以前のような合意にはならなかったことがある。今回、野党統一にならなかったが、引き続き、市民連合は、統一めざし、安保法制廃止、立憲主義の回復を掲げてがんばりたい。戦争させない千代田の会は、毎月、神保町交差点でリレートークを行い、戦争反対を訴えている。来年の3月で100回目の行動となる。千代田区春闘共闘議長も呼びかけ人に入っているの、これからも参加してほしい。

先ほど、JAL 争議に関連して発言があった。JAL 争議に関わってきているので、一言いいたい。問題となっているのは、JAL 争議団の中の財政問題であるので、争議、労働運動とは関係のないものだ。従って、当事者の中で解決するべきものと思う。私たちは、関わらず、今争議がたたかわれているので、支援をしていきたい』と発言しました。

AGC グリーンテック争議の井上さんは、『男女差別裁判で間接差別であると判決があり、半年経った。男女賃金差別は裁判で認められなかったことに対し、未だに不服である。先週、スイス・ジュネーブの国連欧州本部で女性差別撤廃委員会による女性差別撤廃条約の履行状況を確認する日本報告審議が行われた。私は、WWNに参加して行って来た。現地では、ロビー活動をし、裁判の内容などを伝えた。裁判で男女差別を認められなかったこと、日本固有のコース別人事管理があり問題であることなどを話した。日本審議の報告では、AGC グリーンテック事件も報告された。日本政府に対し、男女差別をなくす必要があると迫っていた。これに対し、日本政府は、必要に応じて対応したいという回答であった。審議会で過去に社名は出たことがなかったということ、しっかり追求してもらったことは良かったのではないかと。中国電力の男女賃金差別裁判が始まった。企業の裁量権を争うものとなっているので、注目していきたい』と話しました。

執行部答弁

ここで討論は終了し、里見副議長のまとめの発言がありました。「運動方針案を補完する発言であった。JAL 争議に関する質問について、争議団や水久保さんから発言があった。支援する争議と直接関係のないものなので、関わらない。争議は引き続き支援していきたい。賃金要求の日額 8,000 円以上、月額 17 万円



団結ガンバロー三唱で大会を締める

たのはよかった』との発言がありました。

25 年度千代田区労協の役員体制

議長	茂呂文彦（実教出版労組）
副議長	里見一司（日本ケミファ労働組合）
副議長	小番孝也（電算労東和システム支部）
事務局長	小林秀治（千代田区職労）
事務局次長	橋口文明（区労協事務局）
常任幹事	渡邊孝一郎（全経済特許庁支部）
同	船越賢明（法会労旬報法律事務所 分会）
同	増淵保志（新）（ユニオンちよだ）
同	小泉剛志（千代田区職労）
会計監査	伏木野英雄（全経済特許庁支部）
同	青木和代（ユニオンちよだ）

区職労の小川さんは、『来年の 2 月 2 日に千代田区長選挙と区議補欠選挙が行われる。私たちにとっては、社長を選らぶ選挙だ。明日の総選挙の結果も影響すると思う。現区長と対抗する勢力も出ると思うが、職員の働く権利を守る方向の方でないといけない』と発言しました。

大会運営委員会報告では、大会が成立していること、修正案はなかったこと、決議案は執行部提案の 2 本であること、採決については一括して拍手による採択とすることが報告されました。

報告と議案は、すべて拍手で採択されました。

「平和と民主主義、憲法を守る決議案」を船越常幹、そして「すべての争議の早期解決をめざす決議」を小番副議長が読み上げて提案され、採択されました。

2025 年度役員については、昨年通りとの報告(別表)

があり、最後に茂呂議長の団結ガンバローで大会を終了しました。(千代田区労協 小林秀治)

※ 皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

※ 千代田区労協通信バックナンバー/http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm